

2018年度  
マイノリティ・ウィーク

特別講演会

# いじめから見えてくるもの

—学校の「あたりまえ」を考え直す—

## 講演概要

いじめから、本当はおそろしい学校の「あたりまえ」がみえてくる。学校制度が、人が人をおそれなければならない生活空間を生み出す温床となっているのではないだろうか。学校のなかで群れた人たちが、どのように「怪物」に変わり、外の社会とは別の「あたりまえ」を生きるようになるのか。いじめを手がかりに考えてみる。

## 講師

ないとう あさお  
**内藤 朝雄**（明治大学准教授）



### 【プロフィール】

東京大学大学院国際社会科学専攻国際社会科学コース博士課程中退、明治大学専任講師を経て、明治大学准教授。著書『いじめの社会理論』（柏書房）、『いじめの構造—なぜ人が怪物になるのか』（講談社現代新書）、共著『〈ニート〉って言うな！』（光文社新書）、『学校が自由になる日』（雲母書房）、『いじめの直し方』（朝日新聞出版）、論文『学校の秩序分析から社会の原理論へ—暴力の進化理論—いじめというモデル現象・理論的ブレークスルー』（『岩波講座 現代8』岩波書店）、『学校の全体主義—比較社会学の方法から』（『こどもの人権をまもるために』晶文社）など多数

詳細は <http://gyoseki1.mind.meiji.ac.jp/mjuhp/KgApp?kyoinId=yみがogygy> を参照

2018年6月21日(木) 13:30~15:00

- 場所 四国学院大学 711 教室
- 対象 学生、教職員、一般市民
- 定員 300名（申込不要・無料）

※手話通訳あり

お問い合わせ先  
四国学院大学CHCセンター  
香川県善通寺市文京町三丁目2番1号  
TEL:0877-62-2111(内線423)  
FAX:0877-63-4451  
E-mail:chc@sg-u.ac.jp

 四国学院大学

